

山田クリニック ぽすと

平成24年 10月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

診察室から

9月の最後に台風が通り過ぎ、10月になりました。いよいよ、秋も本番になり、1年のうちでもっとも快適な時期です。昔から「柿が赤くなると医者が青くなる」と言われるぐらい、皆さんが健康に過ごされる時期です。先月は敬老の日もあり、人口の高齢化について多くの記事が新聞に出ておりましたが、高齢化とともに認知症の増加を警告する記事も多くありました。これまでは、認知症は特別な病気で、脳の働きを傷害する物質が原因で発症すると考えられてきましたが、最近では加齢に伴う変化のひとつとして捉えられるようになってきました。もちろん、若年性アルツハイマー病と呼ばれる若い人の発症もありますが、80歳を過ぎると2-3割程度、90歳を過ぎると5割程度の方が認知症を有するといった報告もあり、加齢と認知症との関係が興味を集めています。歳をとっても認知症にならないためには何が大切かということがわかればよいのですが、なかなか、はっきりとはしていません。ただ、高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などの生活習慣病を持っておられる方は認知症になりやすい傾向があるので、これらの生活習慣病を中年世代から、しっかりと治療することが大切かと思えます

検査室より HbA1cって？

ヘモグロビン A1C(HbA1c)とは、過去1,2ヶ月の血糖の状態がわかる値です。ヘモグロビン A1c を測定することで、最近の糖尿病の治療状況がわかります。ヘモグロビン A1c とは糖尿病の診断にも用いられます。

糖尿病の診断は空腹時血糖値の測定や尿糖の有無、自覚症状(多尿、多飲など)の有無などで行われます。ところが、糖尿病患者のタイプによっては正常、尿にも糖分が含まれていないが、食後に異常なほど血糖値が上がるという糖尿病もあります。ヘモグロビン A1c 検査では、このような見過ごされやすい状態の糖尿病を診断する事が可能なのです。

また、血糖値はその時の食事内容、体調、ストレスなどによって変化しやすく不安定な値です。

一方、ヘモグロビン A1c とは過去1,2カ月の血糖値の平均を表しています。したがって、糖尿病治療には、ヘモグロビン A1c の値を下げることを目標とする方が良くとされています。検査の方法は採血によっておこなわれ、他の検査との並行も可能です。

風・物・詩 彼岸花

「暑さ寒さも彼岸まで」。

ちょっと涼しくなってきた9月中旬頃、突然茎が伸びてきて鮮やかな色の花を咲かせ、数日で花が終わって茎だけになる。花のあとで葉が伸びてくるが、冬と春を越して夏近くなると全く消えてしまう。花と葉を同時に見ることはできない。葉のあるときには花はなく、花のときには葉がない。根のところにはリコリンという毒がある。お彼岸の季節、田んぼのあぜ道や土手で 見かけることが多いが、これはノネズミがあぜ道や土手に穴を開けるのを、彼岸花の毒性のある球根を植えることで防ぐためとも言われています。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	×	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00~12:00 休診日:日曜・祝祭日

午後診察 4:00~6:00

ご連絡

今月10/12(金)夜診

及び10/13(土)は

学会出席の為、休診と

致します。

